

国東市に新工場

金属表面処理の大分パーカライジング



国東市安岐町の工場増設を説明する
里見多一社長（左）＝9日、県庁

カメラや自動車部品の金属表面処理、塗装をする大分パーカライジング（国東市安岐町）は9日、工場の増設を表明した。

同社は1998年の設立。メーカーからの受注増立。カメラや自動車部品の金属表面処理、塗装をする大分パーカライジング（国東市安岐町）は9日、工場の増設を表明した。

などから、現工場（計約2500平方メートル）の隣接地に新工場（約1千平方メートル）を建設する。投資額は2億5千万円。9月に着工、来年6月末の操業開始を予定している。現在の従業員は51人

人で、新たに15人ほどを地元を中心に雇用。新工場稼働後の売上高は2割増の年間10億円を見込んでいる。

同日、グループ中核会社の日本パーカライジング（東京都）の里見多一社長、中泉恒男・大分パーカライジング社長らが県庁を訪れ、広瀬勝貞知事と三河明史国東市長に報告。広瀬知事は「新たな雇用をつくってもらい感謝している。順調に進むように手伝いたい」と述べた。